

**令和 2 年度 第 1 回教育・保育推進部会（書面開催）
点検評価及び主な意見**

1 令和元年度の点検・評価及び施策に関する主な意見

(1) 定員の確保等の施策の推進状況の点検・評価

順調である	4 人
どちらかといえば順調である	4 人
あまり順調でない	0 人
順調でない	0 人

(2) 委員からのご意見・ご質問

- ①令和 2 年 4 月 1 日時点の定員に対する利用率は 1 号の 70.2%に対して、2・3 号は 98.1%であります。これまで認定こども園への移行が話題となっていました。今後は 2・3 号の充実をお願いします。

〔事務局説明〕

2・3 号定員の確保の必要性については十分認識しているところです。ニーズに対して供給量（定員）が不足している区域については、施設と相談しながら、定員の確保に努めてまいりたいと考えております。

- ②4 月 1 日時点の利用率や待機数はわかるが、実際弾力運用 120%になったときの 10 月頃の利用率や待機数、年齢の分析などが、部会の検討としては必要かと思えます。定員より実数の把握。

〔事務局説明〕

待機児童数については、毎年 4 月 1 日時点と 10 月 1 日時点の数を公表しており、今年度からは、弾力運用が 120%になる 10 月時点でも、利用率や待機数などを年齢ごとに調査し、公表していく予定です。今後、部会としても随時、分析・検討をしていく必要があると考えております。

- ③年齢によって差があると思いますが、0 歳～2 歳くらいまでは母親の仕事の都合上かわいそうですけど、仕方がないことでしょうか。今後ともニーズにあった市の取り組みを期待します。

- ④利用率が高くてよいと思えます。

2 第一期プラン期間の点検・評価及び施策に関する主な意見

(1) 定員の確保等の施策の推進状況の点検・評価

順調である	3人
どちらかといえば順調である	5人
あまり順調でない	0人
順調でない	0人

(2) 保育士の確保に関する施策の推進状況の点検・評価

順調である	2人
どちらかといえば順調である	3人
あまり順調でない	3人
順調でない	0人

(3) 委員からのご意見・ご質問

① 認定こども園への移行の数が多すぎると思います。

〔事務局説明〕

第一期プランでは、認定こども園の設置数を目標の一つとして設定しておりましたが、目標を達成したため、第二期プランでは目標として設定しておりません。新たな設置相談等があった場合は、「量の見込み（区域ごとのニーズ）」や待機児童の発生状況などをもとに、必要性を判断し、対応していくことにしております。

② 地元出身の学生が、地元の学校で学び、故郷に残ることは、持続可能社会や人口増に大きく寄与します。ぜひ、県外出身者を含む保育士の確保に、引き続き取り組んでいただきたいと思います。

〔事務局説明〕

ご指摘のとおり、地元の学生が地元の学校で学び、故郷に残ることは、労働力人口の確保や、人口問題の面からも、大変重要だと考えております。今後も、就職説明会などにより、地元の学生に対して、地元の施設で働くことの良さをPRして行きたいと考えております。また、県外出身者については、移住保育士への家賃補助や転居費用補助などの支援策の周知を図り、保育士の確保に継続して取り組んでまいります。あわせて、委員の皆様方のお力添えもよろしくお願い致します。

③ 資格者への研修等を行い、保育士を確保しようとしているところや、移住保育士、夜間保育士への補助を行っている取り組みはよいと思います。

④ 第一期においては、イベントの開催や研修等積極的に開催していただき、前回の反省を

いかながら成果を取めてきたところも大いにあると思います。

- ⑤保育士さんへの色々な支援やイベント、初めて知ることが多々あります。色々な団体で高齢化が進んでいる昨今、保育士さんの年齢も気になりますね。体力を必要とする職業だと思いますので頑張ってほしいと思います。